

	拓殖大学でのミニ研究会に参加して	
	仁木輝緒	190
情 報	カレンダー	194
	根の研究 13 巻総目次	197
会 告		199

会員の皆様へ

2004 年 12 月 会長 谷本 英一

天災・人災など「災い」の多い 2004 年でしたが、会員の皆様にはどんな申年だったでしょうか。幸い、研究会としては特記すべき「災い」もなく「苺住」海外渡航支援の発足など若手支援活動も順調に推移しています。

1. 学術会議 (<http://www.sci.go.jp/>)

科学行政に係る学術会議の機能や位置づけが改変されつつあることは、本誌や研究集会を通じて山内章氏（農業総合科学研究連絡委員会委員）から報告されてきました。新しい方式での会員選考の準備として、学術会議会員候補者にふさわしい科学者 5 名の推薦要請が、11 月に根研究会に届きました。時間的制約から、JSRR メーリングリストを通じて皆様に候補者の推薦を依頼しました（[jsrr-ml4] 11 月/14 日付け）。皆様からの推薦に基づき、産業人・若手・女性・東京以外の地方在住者等の条件を含めた 5 名の人選を進めています。推薦結果は次号で報告します。

2. 次回の第 22 回根研究集会は、初めて津軽海峡を渡り、北海道で開催されます。

辻博之氏のお世話で、北海道農業研究センター（札幌市豊平区羊ヶ丘・札幌ドームの隣）で、7 月 2 日（土）開催の予定です。奮ってご参加下さい。

3. 阿部淳氏らのご尽力で、会誌「根の研究」のオンライン版の試験的運用が開始され、2002 年、2003 年に掲載の論文をインターネットから閲覧できるようになりました。まだ検索機能が使えませんが、目次から論文を選択することで、要旨ならびに全文（PDF）を閲覧できます。ご活用ください。 <http://root.jsrr.jp/>

4. 根研究会「苺住」海外渡航支援（JSRR (Karizumi) Young Researcher Travel Award）（2004 年後期分）は、次の方々に決定しました。詳細は本号 161 頁をご覧ください。

- ・田島亮介さん（東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程 2 年）
参加学会：International Peanut Conference (2005.1.9-13:Kasetsart University, Bangkok, Thailand)
- ・塚本葉子さん（東京大学大学農学部 4 年）
参加学会：International Peanut Conference (2005.1.9-13:Kasetsart University, Bangkok, Thailand)